創業者 渡邊祐策の魅力に迫る

たゆまぬ学究心

祐策は、農業の傍ら造り酒屋を営む父・恭輔と、寺子屋を開く祖父・藤輔のもとで、幼い頃から読み書きを教わりました。九歳で小学校、十四歳で厚狭の協興学舎に入学し、教師になることを夢見ていましたが、協興学舎入学後すぐに父・恭輔が急逝し、家督を継ぐために連れ戻されてしまいます。しかし、まだまだ勉強したい祐策は、家族を説得し、岩国の東澤瀉（ひがしたくしゃ）で陽明学を学びました。僅かな期間でしたが、ここでの経験が、祐策の人格形成と能力開発に大きな影響を与えたと考えられます。

渡邊祐策は、宇部興産の前身となる「匿名組合　沖の山炭鉱組合」の頭取を務めた人物です。その後、「宇部新川鉄工所」「宇部セメント製造」「宇部窒素工業」など、次々と事業を興し、現在の礎をつくりました。一方で、「宇部電気会社」や「宇部軽便鉄道」の創業、新川小学校の前身となる「沖の山家庭学校」の開校など、宇部の発展に大きく貢献しました。現在では、渡辺翁記念会館にその名を残し、記念館前の公園で銅像を見ることができます。今回は、そんな渡邊祐策の魅力的な人物像について、ご紹介しましょう。

聞く力

堀田山炭鉱の開発に失敗し、多額の借金を抱えて、農業に専念していた時代にも、祐策の家には、たくさんの来客がありました。いろいろな人がやって来ては、さまざまな悩みや問題を祐策に相談しました。祐策は、大小問わず誠意を持って話を聞き、一緒になって懸命に解決策を考えました。宇部の炭鉱が成功した理由のひとつに、コスト削減へのイノベーションと優れたマーケティングが挙げられますが、祐策のこうした姿勢が、大きく反映した結果だと思われます。

苦労が磨いた人柄

祐策には、たくさんの苦労がありました。四歳で母、九歳で祖父、十四歳で父と、頼れる家族を次々と亡くし、寂しい少年時代を過ごしました。その後結婚し、役場勤めをしていましたが、二十五歳で一念発起し、堀田山炭鉱の開発に着手しました。しかし、見込みが甘く、僅か四ヶ月で採掘を断念、多額の借金を抱えることになりました。祐策が三十二歳の時に頭取として開発に着手した「沖の山炭鉱」も、最初の数年間は、採掘量が少なく、一時は開発中止を検討したほどでした。苦労の経験が、祐策の卓越した能力を育み、多くの助けと神がかり的な幸運を呼び寄せたのでしょう。

子孫を思う心

祐策は、人材の育成にも熱心でした。例えば、多額の私財を投じて「宇部新川鉄工所」に設立した「私立宇部徒弟学校」。将来の工業界を背負う若い人材の輩出を目指した企業内訓練校の先駆けです。セメント工業や化学工業へのチャレンジも、「爺らが代には炭をほりつくして、おまらァの時には何もないと孫にいわれちァならん、長う続く仕事も残しておいてやらにゃ」という理念によるものでした。石炭で得た利益を自分のものとせず、子々孫々にいたるまで、宇部の民が豊かでいられるようにという思いやりが、将来を見据えるチカラとなったのでしょう。

渡邊裕志さんインタビュー

祐策の人生は、寄付 散財の一生だった

私の曽祖父・渡邊祐策は、炭鉱事業で大成功しました。そして、ひたすら「宇部の将来」に投資し続けたのです。炭鉱御殿を建て、贅沢放題というのが、石炭王と言われた人たちのお決まりだった時代に、彼は一切の贅沢を排し、事業拡大だけでなく、公共インフラや教育機関の整備にまで心血を注ぎました。何が彼をそこまでさせたのか。私は、宇部人の教養レベルの高さに魅せられたのだと考えています。当時の炭鉱主で、祐策のように読み書き・計算ができる人は、ごく僅かだったようです。しかし、宇部には、それができる若者が沢山いたわけです。こうした人財が、宇部発展の原動力になると確信したからこそ、祐策は、安心して「宇部の将来」に投資できたのでしょう。彼らのDNAを受け継ぐ若い世代が活躍する「宇部の将来」に、我々も投資しないといけませんね。

祐策のひ孫の裕志さん

渡邊邸の正門にて

地域の顔

このコーナーでは『地域の顔』として活躍していらっしゃる方々にお話を伺います。今回は、10月1日に医療法人として新たなスタートを切った宇部興産中央病院の院長、福本陽平さんです。

―宇部興産中央病院ってどんな病院ですか？

24時間365日の救急受け入れに加え、診療所や他の病院、介護・福祉施設からの紹介で高度な医療を行っており、市民病院的な役割を担っていると思います。治療や手術が中心の一般病棟、病状が安定した患者さんが在宅や介護施設への復帰支援を受けながら入院を継続する「地域包括ケア病棟」、退院後の自立に向けてリハビリを専門的に集中して行う「回復期リハビリテーション病棟」があり、患者さんが、安心して家庭に復帰できるよう、症状に合わせた療養・回復のためのサービスを提供しています。

―地域から期待されていることは？

在宅医療のトレンドが加速する中で、当院には、より地域に根差し、地域の声に応え、地域の皆さんに寄り添った医療サービスを提供することが期待されていると思います。現在、往診など在宅医療を行っておられる診療所に対し、緊急時のスムーズな入院受入れに加え、当院の専門医師や認定看護師の活用といった更なる後方支援を検討しています。医療法人化に踏み切ったのは、企業立病院の枠を超えて、在宅支援を含めた「包括的な医療」に取り組むためなのです。

―宇部興産中央病院の将来像は？

ますます多様化するニーズに応え、救急や高度な医療を提供し続けるため、18年に新病棟を建設する予定です。救急センター、手術室、高度治療室を集中させ相互機能を高めます。高度な救急医療体制を維持することも、市民の安心を守る上で、当院の役目だと考えています。

―福本院長はどんな病院にしたいですか？

五年前、当院に赴任後すぐに、スタッフに向けて「やさしい病院」づくりというメッセージを出しました。患者さんに「やさしい病院」は「職員に対しても、職員同士もやさしい」という意味を込めました。当院は、常にそんな優しさあふれる場所として、夢の持てる病院でありたいと思います。

市民とともに、音楽とともに。

「第7回宇部興産グループチャリティコンサート」を実施。

日本フィル交響楽団が奏でる美しい音色を、音楽の街へお届けしました。（10月11日～12日）

本公演（於：渡辺翁記念会館）

ふれあいコンサート（於宇部興産中央病院）

地域ふれあいコンサート（於：アクトビレッジおの）

♥宇部出身♥ 社員登場⑤

宇部興産㈱　研究開発本部
有機化学研究所　有機材料G
三吉 健太

子どもの頃から宇部興産で働いている姿を思い描いていました。学生時代の夢は「資産家」で、経済の勉強に夢中。今は研究者として、新しいモノを創り出すための勉強を続けています。入社年に、研究所から生まれたものが顧客のもとで製品として採用され、使われ始める瞬間を目の当たりにした経験が、大きなモチベーションです。昨今は化学部門が不調で元気がないと言われていますが、この状況を打破するために何か貢献したいと考えています。職場はとにかく仕事熱心な方が多いので、自然と自分も頑張ろうという気持ちが強まります。地元・宇部の発展のためにも、精一杯に。

宇部興産水泳部 クラブ紹介

幅広い年齢層で活動しています。（部員集合写真：2014年県実業団より）

代表：吉田一成（草江在住）

水泳部は創部13年、初心者から上級者までの部員5名で活動しています。日本代表クラスの実力者はいませんが、県内の実業団大会では個人種目優勝の常連であり、13年連続優勝の実力者もいるなどタレント揃いです。日頃は部員同士でアドバイスし合って技を磨き、試合では選手一人一人がチームの為にチームのプライドをかけて泳ぐ。当部は記録への挑戦とチームワークによる勝利を目指して仕事と両立しながら頑張っています。今後とも応援を宜しくお願いします。

おしらせ

●定期点検／定期休転：（予定）

宇部ケミカル工場：自主保安認定工場のため、定期点検の実施は隔年。次回は2016年5月～6月頃。

宇部セメント工場：2014年度下期は11月26日終了予定。次回は、2015年5月中旬から約1か月。

●連結決算報告

2014年4月～2014年9月

（単位：億円）

項　目	13年度 第2四半期	14年度 第2四半期	差 異
売 上 高	3,108	3,077	△ 30
営 業 利 益	90	62	△ 28
経 常 利 益	67	48	△ 18
四半期純利益	66	0	△ 66

●宇部市の写真募集中！

「翼」のタイトルバックの写真は、読者の皆さんが撮影された写真を掲載しています。

●クイズ

宇部興産㈱の創業者・渡邊祐策が、子どもの頃にあこがれていた職業は何でしょうか。次の3つから選んでください。①石炭王 ②教師 ③医者　正解者の中から抽選で20名の方に、UBEDOGの粗品を進呈します。（ヒント：「渡邊祐策の魅力に迫る」）締切：2015年5月末日

●web「翼」

Web限定の「こぼれ話」や「編集者」が登場。今回の動画は、メガソーラーの空撮。皆様のご来場をお待ちしております。(*^_^*)

宇部興産　翼　検索

●次号発行予定日

2015年5月末日

★ご意見・ご応募（「写真」「クイズ」）：宇部興産株式会社 宇部渉外部（「翼」編集室）〒755-8633 宇部市大字小串1978-96、webはこちらへ　宇部興産　翼　検索

デザイン・印刷：リベルタス興産